

夢 童

菅波 茂

気持ちのいい初夢を見た。紹介したい。「中四国州の成立」である。そして「州都岡山」である。人口1000万人から1500万人は国際社会では一人前の国家の規模である。石井正弘知事による国際貢献活動推進条例の制定が「世界が必要とする岡山」を推進した。

道州制には二つの意味がある。一つは道州間の競争で、もう一つは国際社会への直接参加である。国際社会への直接参加はすでに企業や非政府組織（NGO）が営利活動や非営利活動として行っているが、企業やNGOが決してできないことが法の制定である。国際貢献活動推進条例は日本及び各国の政府、国連機関や国際機関に「岡山の意思」を伝える卓越した方法である。岡山の意思とは「岡山の価値判断」であり、この条例

は持続力の保証である。

日本は天国に最も近い国である。「人間の安全保障」は世界の難民を一元的に管理する国連難民高等弁務官が世に問うコンセプトである。難民とはパスポートを持ってない人たちで、パスポートがないことは国家の保護がないことを意味する。国家の保護が受けられない人たちにとって最も大切なことが「人間の安全保障」なのである。具体的に説明したい。食

べられて健康で教育が受けられる。これは人間らしい生活のために保障されなければならぬベシック・ヒューマン・ニーズである。実現には治安が必要である。そしてこれが実現できたら生きる喜びを求めようになる。生きる喜びとは文化である。「人間の安全保障」の指数は上記の五項目である。

新春の夢—中四国州と州都岡山

ることである。失業率は4.5%で、先進国でもトップクラスである。健康とは平均寿命の数値で、女性は85歳、男性は78歳で世界一、二位である。教育に関しては、少子社会の到来で大学全入時代を迎える。生きる喜びの文化は多様性に富んでいる。なぜに日本は世界に誇れる「人間の安全保障」を実現できたのか。冷静な分析に基づいたソフトウェアこそ、日本そして岡山が国際貢献で世界に提供できる内容である。

国際貢献産業とは「人間の安全保障」を実現したソフトウェアの産業化である。普遍性とは「いつでも、どこでも、誰でもそうだと思うこと」である。普遍的な産業化である。「世界の平均寿命」を達成したソフトウェアとともに、達成したことにより直面している介護に関するプログラム

ソフトウェアは情報技術（IT）革命による情報共有化の波に乗り、世界の人たちに普及することが想像できる。

国際化とは単に英語を話すことではない。単に国境を越えて他の国を訪れることでもない。単に海外にお友達がいるだけでもない。「岡山の国際化とは岡山が世界に必要とされること」である。

AMDAは本年からジュネーブとニューヨークの事務所機能を開始する。世界にある29カ国の支部とともに「救える命があれば、どこへでも」のスローガンのもとに活動を続けたい。岡山に本部があるAMDAとして、国際貢献活動推進条例の世界への発信、国際貢献産業の育成にお役に立てれば、これに勝る喜びはない。初夢の「中四国州の成立」と「州都岡山」が正夢になるよう努力したい。本年もAMDAに対するご理解とご支援をお願いしたい。

人数である。世界でも最小である。食べられることは働ける。「食の安全性」のコンセ

AMDA代表

—題字は筆者